

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	商業施設等誘致事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	誘致推進課			
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	大津 真規			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅周辺	意図	新拠点に相応しい商業施設の集積を図る。
事業内容	流山おおたかの森駅周辺を商業・業務・文化・行政機能が集積する本市の「新拠点」となるよう商業施設の立地を誘導します。			
事業開始から現在までの状況変化	区画整理事業等の開発進捗による周辺住民の増加にともない、商業施設等の進出が進んでいる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 商業施設の新規立地件数	1	2	3	件	↑↑↑	業務取得
	② 誘致活動件数	13	14	7	件	↑↑↑	業務取得
	③ TX流山おおたかの森駅1日当り乗車人数	33,135	34,702	36,644	人	↑↑↑	TXホームページから数値取得
	④ 東武流山おおたかの森駅	26,855	27,619	27,717	人	↑↑↑	東武鉄道ホームページから数値取得
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>流山おおたかの森駅周辺住民の生活機能の向上</li> <li>流山おおたかの森駅周辺の賑わいの創出と交流人口の増加</li> </ul>				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> <li>新市街地地区区画整理区域内では、平成29年度に複合商業施設やホームセンター、食品スーパーが開業した。</li> <li>おおたかの森駅北口の市有地活用事業の進捗や西口駅前広場整備の進捗により、地権者の土地利用意欲が高まっている。</li> </ul>		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成29年度に複合商業施設やホームセンター、食品スーパーが開業した。 ・おおたかの森駅北口の市有地活用事業の進捗や西口駅前広場整備の進捗により、地権者の土地利用意欲が高まっている。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,259,000	2,059,500	2,013,600			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	進出を検討している商業事業者への適切な情報を提供するために、県、市内商工団体、金融機関や宅建協会と連携し、用地情報の収集に努める。	③取組の課題	進出を検討している商業事業者等への確かな情報提供を継続的に行うこと。
②今年度(H29)に実施した取組	金融機関と連携し、進出を検討している商業施設事業者等に対して常に適切な情報提供に努めた。	④今後(H30以降)の改善計画	引き続き、金融機関と連携し、進出を検討している商業施設事業者等に対して常に適切な情報提供に努める。